

令和5年3月

自己評価結果

社会福祉法人北越福社会
北越こども園

施設職員の間から見た「北越こども園」の自己評価結果を、下記のとおりご報告します。

記

- 園長、副園長、主幹保育教諭2名の計4名が評価を行いました。
- 各評価項目について、A～Cの3段階で評価を行いました。
- 各カテゴリーごとの総合所見、及び全体的なキーワードと総合所見を設け、最後に総評コメントを行いました。

令和4年度 施設職員自己評価

1. 施設・事業所の概要

(1) 法人名	社会福祉法人北越福社会
(2) 事業所名	北越こども園
(3) 所在地	新潟県十日町市本町六の一丁目79番地1
(4) 電話番号	025-757-3860
(5) 福祉サービスの種類	幼保連携型認定こども園

2. 実地調査日

令和5年3月31日

3. 評価結果の概要

【評価基準】 A…達成されている B…取り組んでいるがまだ不十分 C…できていない

評価基準	評価結果
I. 子どもの発達援助	
1 発達援助の基本	
(1)保育計画が、保育の基本方針に基づき、更に地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A4・B0
(2)指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	A3・B1
(3)一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となってい	A3・B1

る。	
(4)一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。	A3・B1
(5)一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	A4・B0
総合所見	
<p>■毎年ごとに見直しを行い、毎月の幼児クラス、未満児クラスの会議で検討されている。</p> <p>■それぞれのクラスで保育計画が立てられているが、園全体としては共有されていない。ケース会議については職員会議等で話し合い、全職員に周知。</p> <p>■新たに「リーダー会議」を月1回設け、現場の状況を園全体で情報共有し、保育環境の充実を図った。</p>	
2 健康管理・食事	
(6)登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	A4・B0
(7)健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	A4・B0
(8)感染症への対応については、マニュアルがあり、発生に際しては、その状況を必要に応じて保護者に連絡している。	A4・B0
(9)専門医から指示があった場合において、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	A4・C0
(10)日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	A4・B0
(11)食事を楽しむことができる工夫をしている。	A4・B0
総合所見	
<p>■手作りおやつを心がけている。</p> <p>■食べていて楽しい声が子どもたちからも聞かれる。</p> <p>■毎朝の健康チェックは必ず行っている。</p> <p>■アレルギー疾患のある子には代替食の提供を行っている。</p> <p>■看護師や必要な時は学校医のアドバイスを受けて判断している。</p> <p>■食育に関して栄養士が色々な取り組みをしてくれている。</p> <p>■看護師や栄養士を配置し、保護者や園児に専門的な対応やアドバイス、おたよりを通して情報などを伝達している。</p> <p>■アレルギー児に対して代替食の提供をしている。</p> <p>※ お盆・お皿を色つきにし、目で見て判る対応</p> <p>※ 代替食のメニューが書かれたチェックシートを食事と一緒につけ、調理室⇄担任で</p>	

<p>W チェックの確認をした上で提供している。</p> <p>■コロナ対策や予防については、看護師を中心に素早い対応で、保護者に安心して頂けた。</p>	
3 保育環境	
(12)子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A3・B1
(13)生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	A3・B1
総合所見	
<p>■現場では試行錯誤しながら環境を整える為に頑張ってくれている。</p> <p>■保育室は陽当たりも良く、配慮されている。</p> <p>■くつろげる空間は、仕切り等を活用して目隠しの場を作り、クールダウンできるコーナーを作った。</p> <p>■コロナ禍以降は特に換気や温度・湿度に気を配っている。</p> <p>■清掃スタッフを配置し、清潔を心がけるとともに、アルコール消毒等、感染予防に努めている。</p> <p>■保育室の環境整備については試行錯誤中。</p> <p>■コロナ対策や予防に取り組みながら、その時その場に必要に対応で過ごしやすい保育環境作りを心掛けた。</p>	
4 保育内容	
(14)子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	A4・B0
(15)基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	A3・B1
(16)子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A1・B3
(17)身近な自然や社会と関われるような取組みがされている。	A4・B0
(18)さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	A4・B0
(19)遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	A4・B0
(20)子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	A3・B1
(21)性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A4・B0
(22)乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A4・B0
(23)長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A3・B1
(24)障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A1・B2・C1
総合所見	

- 研修を通して各自がスキルアップしていて学びの姿勢が出来ていると思う。
- 障がい児に対しての環境がなかなか整わない。難しい問題だと思う。
- 子どもの言葉、行動を受け止め、寄り添いながら、物事の良し悪しや友だちの思い等理解できるように促していく。
- 排泄のタイミングを逃さないように声を掛け、成功を褒めてやる気につなげていく。
- 自発的に活動できる時間には、それぞれ思い思いに楽しんでいる。
- 天気の良い日には散歩に出かけ、自然に触れて楽しんでいる。
- 公園やめごらんど等を利用し、マナー等伝えている。
- 子どもたちからのリクエストで曲を流したり、あそびの中で作った作品を写真に撮り、保護者に掲示して共有している。
- 保護者が仲立ちし、コミュニケーションを取りながらあそびや生活の中で人間関係が身につけていくようにしている。
- 人として倫理的に考え、行動できるように、日々の生活の中で培っている。
- 乳児とのスキンシップを充分に取り、心地よい空間となるように保護者と共有しながら進めている。
- お迎えが来るまでの時間を、好きな遊びをして過ごせるようにしている。
- 障がい児の特性に合わせて危険のないように、又、おひさま等の専門機関と相談しながら進めている。
- なるべく個々に応じた保育を心がけているが、リーダーとなる保育者は全体を引っ張っていくため、難しいところもある。補助スタッフを置くことで個々にていねいに関わるが増えてきた。
- 年齢ごとに年間の「保育内容の到達目標」のめやすを決めた。R5年度から取り組む予定。
- R5年度は保護者の負担を少しでも軽減できるよう、手ぶら降園をできる形で導入する予定。

II.子育て支援	
1 入所児童の保護者の育児支援	
(1)一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	A3・B1
(2)家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A4・C0
(3)子どもの発達や育児などについて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A3・B1
(4)虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報をもとに速やかに対処している。	A4・B0
(5)虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	A4・C0
2 多様な保育ニーズへの対応	

(6)地域の保育ニーズを把握するための取り組みを行い、それを事業に反映している。	A2・B2
3 地域の子育て支援	
(7)育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	A1・B3
(8)一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A4・B0
総合所見	
<p>■地域への子育て支援はこれから積極的に行っていきたいところである。</p> <p>■送迎時等、保護者とコミュニケーションを図り、子どもの成長等共有している。また、傷があった場合等、保護者に声を掛け原因等を訊き職員にも共有している。</p> <p>■電話や来園による相談や、一時保育の受入を行っている。</p> <p>■入所児の保護者に対しては情報交換や面談を行うなどして支援を行っているが、地域の子育て支援は実施されていない。</p> <p>■年少～年長児の保護者に希望制の面談を行い、園との情報共有の場を設け、安心して頂けるようにした。</p>	
Ⅲ.地域の住民や関係機関等との連携	
1 地域の住民や関係機関・団体との連携	
(1)保育所の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	A3・B1
(2)子どもの健康状況について、医療機関などに相談や連携ができる体制になっている。	A4・C0
(3)育児相談などに際して、児童相談所などの専門機関に相談や連携ができる体制になっている。	A4・C0
(4)小学校との間で、小学生と園児とが互いに行事等で交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修などの機会がある。	A4・B0
(5)民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っている。	A4・C0
(6)近隣の人々に保育について理解を得たり、協力を依頼するなどの配慮をしている。	A4・C0
(7)中高生などの保育体験を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解されている。	A4・B0
2 実習・ボランティア	
(8)実習生を受け入れるに当たっては、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、実習担当者も決められている。	A4・B0
(9)ボランティアを受け入れるに当たっては、受け入れの意義や	A3・B1

方針が全職員に理解され、受け入れの担当者も決められている。	
総合所見	
<ul style="list-style-type: none"> ■できる限り実習生は受け入れている。 ■感染症等、学校医への連絡・相談をしてアドバイスを受けている。 ■小学校とは毎年行事等で交流を行っている。 ■ボランティア、実習生も毎年受け入れている。 ■にこにこデーとして、毎週木曜日に園開放を行っている（R4はコロナで休み） 	
IV.運営管理	
1 基本方針	
(1)保育所の保育理念及び基本方針が明文化されている。	A4・B0
(2)保育理念や基本方針を職員、保護者、関係者に周知するための取組みを行っている。	A4・B0
2 組織運営	
(3)保育の質の向上や改善のための取組みを、職員参加により行っている。	A4・B0
(4)保育の内容について、職員参加により、定期的に自己評価を行っている。	A2・B2
(5)職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	A2・B2
3 守秘義務の遵守	
(6)守秘義務の遵守を周知している。	A3・B1
4 情報提供・保護者の意見の反映	
(7)情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	A4・B0
(8)保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	A4・B0
5 安全・衛生管理	
(9)事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	A3・B1
(10)事故防止のための具体的な取組みを行っている。	A3・B1
(11)調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A4・B0
総合所見	
<ul style="list-style-type: none"> ■研修内容をよく考え、今、自園にとって何が必要か、どういった研修が良いのか、検討していきたい。 ■入園の際に保育理念や基本方針を説明し、ゆうぎ室やホームページに掲示している。 	

- 環境改善や保育の取組等検討している。
- 保護者にはメールやおたより配布等行っている。
- キッズビュー（保護者連絡用ツール）の運用が定着し、タイムリーに情報を配信できるメリットが大きい。
- 園児の登降園もQRコードでのシステムを導入した。

V. 全体の総合所見

キーワード

- 職員同士のコミュニケーション、周知、情報共有、共通理解
- 保育の質を向上させる園内研修
- 地域への関わり
- コロナ禍が明けたら、地域への発信を！
- 保育の環境整備
- 体制づくり
- キッズビュー（保護者連絡用ツール）
- 少子化

総合所見

- 全職員が集まったの会議は年数回になってしまうので、日頃から時間を見つけコミュニケーションを取ることが大切だと思う。
- 職員が明るく元気でステキな笑顔だと、子どもたちも幸せ。
- コロナ禍の中だが、孤独の中ワンオペ育児をしているケースもあると思うし、にこにこデー等の内容も少し見直していく必要があると思う。
- 色々な子がいる中で保育環境をその時その場に応じて工夫していく。
- 急な体制変更等、求められる事もある。余裕をもってできるようにはしているが、難しい時が多いのも現状！職員の人員確保があるといいと思うが・・・。
- 全職員へ周知させたい内容を書面や回覧で知らせても、全員に行き渡るまでに時間がかかっている。
- 個々に応じた保育、主体性重視の保育のための環境整備が課題。
- 今年度も with コロナ禍の中での一年だったが、少しずつできる形での行事を試みた。R5年度はもっと良い形で行事が復活していけたらなあと思う。
- どこの園も少子化に悩まされている現状だが、だからこそ自園の特色を活かした保育のアピールが必要になってくると思う。打開策を考えた取り組みを視野に入れていかないといけないと切に感じる。

4. 施設・事業所のコメント

コメント

- 今出来ることを積極的に行っていくことが大切だと思う。
- 管理職が全てを決めて現場はそれに従うのではなく、大切なこと、大まかなことはこちらできめても、みんなでその問題について揉んでもらうのも大事なことだと思う。
- 園内研修を今まで以上に充実させていきたい。
- クラスによって子どもがクールダウンするコーナーを設けたりしているが、入りたい子も多くなったりする。まったりと過ごせるスペース等、増やせないか検討する。
- 子どもの保育環境の一つでもある保育者が、質の向上を目指していくうえで、研修で培った内容をもっと日常の保育の中に展開していけるように、園内でもいかに取り入れていくかの話し合いの場をもっと増やしていけると良いと思うが、自分自身の考えをしっかりと持ち、どうする事で歩み寄っていけるのか等、深い話を継続していけるとなお良いと思う。

当園の改善目標として役立ててまいります。